

真室川小学校 河川愛護モニター通信

真室川小学校の児童から国交省鮭川出張所への質問・報告と、出張所の回答をご紹介します。

質問1

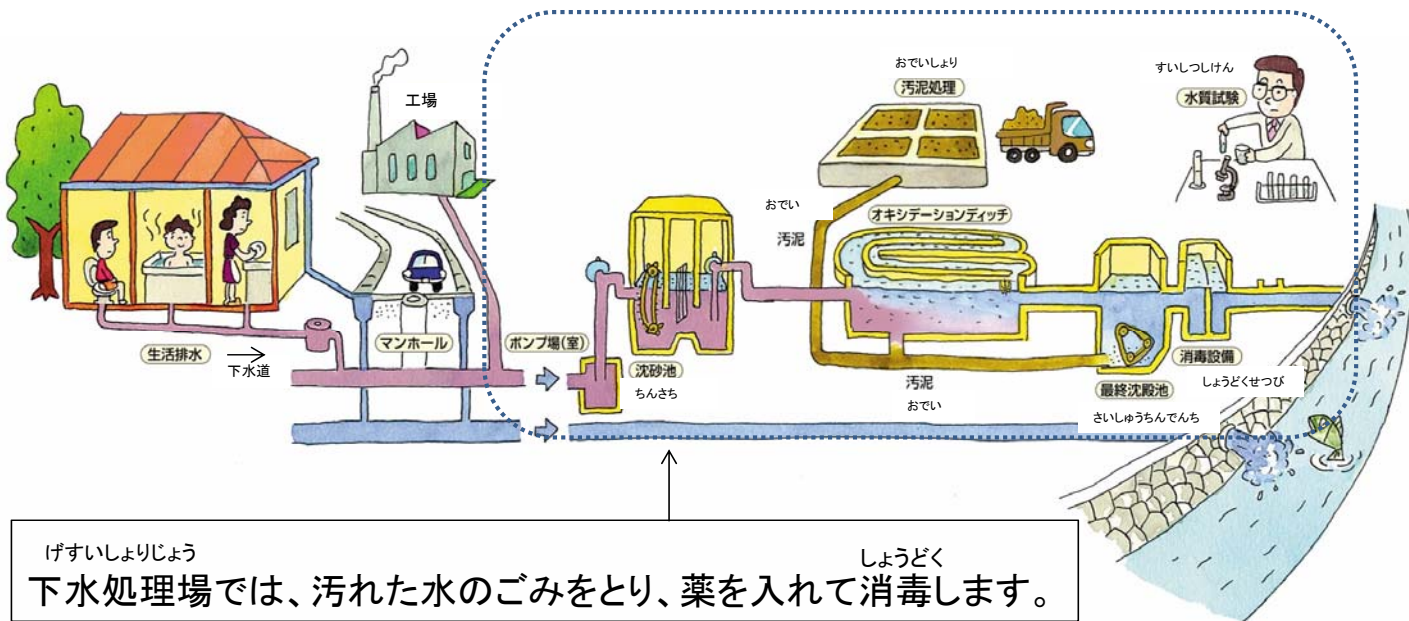
昔は今よりもずっと川はきれいだったとおじいちゃんから聞きました。昔も川に家から出る排水を流していたと思うのですが、なぜきれいだったのでしょうか？



答え

昭和20年頃は家庭用洗剤がなく、水洗いや米のとぎ汁で洗っていました。工場は少なく、水洗トイレもありませんでした。つまり昔は今よりも川を汚す原因となるものが少なかったのです。

今は下水処理場が整備され、汚れた水をきれいな水にしてから川に戻しています。



下水処理場では、汚れた水のごみを取り、薬を入れて消毒します。

質問2

雪が降ることは川のきれいさに関係ありますか？



答え

自動車や工場の煙に含まれる、人体に悪い影響を引き起こす物質(汚染物質)により空気中が汚れ、冬に雪となって降ってきます。この雪を酸性雪といい、日本の広い範囲で観測されています。新庄河川事務所では月に1回、戸沢橋において鮭川の水質を調べていますが、雪が降る冬においても「きれいな水」との結果が出ていますので、現在のところ雪が降ることは川のきれいさに関係していない状況です。しかし将来、雪に含まれる汚染物質が増えてくると川の水質に大きな影響が出てくる事も考えられます。